



さまざまな音楽に挑戦

私たちは毎週土曜日の午後、あしたば白石に集まり、歌やピアノをはじめ、横笛、オカリナ、ギターなど身近な楽器を持ち寄って、ジャンルを問わない音楽を楽しんでいる小さなサークルです。特に指導する方はいません。とても自由な雰囲気です。

白石蔵王駅の構内や、老人ホームなどの施設で演奏させていただくこともあります。

皆さんも私たちと一緒に音楽を楽しんでみませんか？ 音楽好きな方、どうぞ気軽に遊びにいらしてください。

問あしたば白石 ☎25-5095



市民文芸 応募方法

一人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0257白石市宇直町37-3、白石市情報センターへ。短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

歌壇

高橋辰男 選

頑張れともう言わないよねえ母さんいままでもう分頭張ったから 大庭 良子
 新年のけいこ始めの電話あり友と二人でまず一踊り 阿部みさ子
 屋根の上に尺余の雪の積りたり峡の住まいの新年静寂 八嶋 正子
 今年きりと思いつきし大根のフロフキの香今宵たのしむ 大津 重子
 うからやから集いて祝う新年の写真に猫も仲間に入れる 山田 濱
 暮の街不景気よそに郊外へ車は続く長蛇のごとく 太田 敏子
 宮詣で我が家全員堂に座し太鼓のひびき五体に沁みる 岩松 貞子
 年の瀬のおだやかな日の書院にて心はずかに写経にのぞみぬ 岡崎 澄子
 雪掻きも運動不足の解消と思えば軽スリッパの音 村山美代子
 一切のものをうずめし銀世界たいらになりて正月迎う 斎藤タカ子
 評 一首目、「頑張れ」のフレーズはらんらの世にあえて発想を転換して、やさしく母に呼び掛けた日常語がそのまま歌になった。二首目、正式のけいこ始めに先立ち親しい友人と二人だけの舞始め、「まず一踊り」が効果的である。三首目、結句の大胆重厚な表現が一首を支えて、雪に埋もれた山峡を想像させる。

俳壇

遠藤秋尾 選

古時計大きく新年告げにけり 山家 弘子
 幸せに余生の紅や初鏡 制野 リエ
 初詣家長先頭屋敷神 日下 文
 風花はやさしく風を従へり 佐藤 周子
 枯木立鳥の巢箱の現なる 大庭 良子

柳壇

山田風流 選

初み空蔵王大きく輝けり 高子たちばな
 薄日さす庭にほんのり寒椿 阿部はぎの
 還暦を祝ふ太鼓や冬座敷 高橋 正男
 古里の香りの届く年の暮 菅野 理華
 大雪に雪掃く姿理もれる 川村 静恵
 新年おめでとうございませす。今年も奮ってご投句ください。作句の基本として、十七音であること、季語を一つだけ入れること、参考書として歳時記を必ず確認のこと、以上お願いします。俳句勉強会は、毎月第二土曜日と第四日曜日の午後一時から中央公民館で行っています。年齢、性別に関係なくどなたでも参加できますので、まずはおいでください。初心者大歓迎です。会費五百円。

すべらした口から尻尾掴まれる 草野 清
 甘くなる頃は無くなる軒の柿 川村 静恵
 しあわせは冬至かぼちゃを食うことつ 四電 英夫
 定年に暦は要らぬ時流れ 小野嘉津子
 亀でよしたくしなりのマイペース 米沢 礼子
 リストラへ明日は我が身と首縮め 佐藤 尚志
 ふるさとのおせちを乗せて宅急便 大沼 妙子
 除夜詣我が煩惱の捨てどころ 大庭 良子
 老眼の辛さを語るクラス会 平間 大恵
 血糖値血圧脂肪秋の空 高橋 要一
 評 一首目、ひと言多いのが命取り、口は災いのもと。二首目、白粉のふくころまでには干し柿がなくなっている。三首目、アフガンでは寒空の下、空腹で裸足。こたつの中で熱い冬至かぼちゃを食べられる幸せ。平和ほどありがたいことはない。十首目、川柳は省略の文学。見事な省略ですが、リズムがひと工夫を。

前選者の近江孫太郎氏が一月十三日に急逝されました。ごめい福をお祈りいたします。

「大畑遺跡」から3棟以上の建物跡発見

8世紀の役所跡の可能性



都市計画道路（白石沖・中河原線）の建設工事に伴い、市教育委員会が昨年四月から広さ約七百㎡で発掘調査を進めてきた「大畑遺跡」白石駅東側（字東大畑ほか）で、掘り立て柱建物跡（三棟以上）や遺物が発見されました。

今回の調査で見つかったのは、掘り立て柱跡と溝跡、かわらや土師器（はじき）など十数余りの遺物です。

過去の発掘調査では倉庫跡など

も見つかっており、建物の規模や規則性、方向性、出土遺物などから、本遺跡は「続日本紀（しよくにほんぎ）」に七二二（養老五）年に設置されたとある刈田郡衙（かつたくんが「刈田郡の役所」）内の建物跡の可能性が高く、その建物は平安時代まで使われていたと考えられています。

問い合わせ
 教育委員会社会教育課
 ☎22・1343

出土したかわら、土師器

ジャロドの

国際コーナー

International Corner



Easter (イースター・復活祭)

今月は基督教の祭りである「復活祭」について書きたいと思います。

イースターもクリスマスと同じように基督教の祭りです。基督教会のカレンダーに基づいて、3月22日から4月25日までのいずれかの日曜日がイースターの日になり、キリストの復活を祝います。今年のイースターの日は3月31日です。オーストラリアでは、イースターの日前の金曜日（Good Friday）も、翌日（Easter Monday）も祝日です。

イースターの伝統的な習慣として、本当の卵に彩色して飾りをつけたイースター・エッグが、「新生活」と春の到来を象徴するプレゼントとして贈られます。しかし今では、卵にそういう飾りをつけるのは手芸用が主で、その卵より、チョコレートで作った「イースター・エッグ」を贈る人が多い

です。また、イースター・カードをあげる人もいますが、クリスマスほどは行われません。

ほかのイースターの習慣はイースター・パレードで、春の花やリボンで飾った帽子をかぶって参列します。私は小学生のとき、親がイースター・エッグで飾った帽子をパレードでかぶって行きましたが、気温が急に上がってチョコレートが溶けてしまいました！ですから、かぶる代わりにチョコレートを食べなければなりません！このようなパレードがあちこちの小学校で行われます。

仙台などへお出かけの際は輸入店に立ち寄ってみてください。復活祭のチョコレート卵（イースター・エッグ）があるかもしれません。そして見つけたら、おいしいからぜひ食べてみてください。

See you next month.